

# えがお大東っ子 第18号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyu/egaodaitoukko/>

## 大東市小中学生弁論大会 「心ごとばに～伝えたい気持ち～」

平成25年11月15日、サーティホールにて第8回大東市小中学生弁論大会を開催しました。「弁論の部」では、小学生1,256名、中学生2,721名の予選応募者の中から選ばれた10名の小中学生が、様々な人との関わりや社会の出来事の中で心に感じたことを、素直に熱く語ってくれました。その後、各小学校の5年生から1名、計12名の代表者による「1分間スピーチの部」も実施され、それぞれが自分の学校の特徴や自慢できることを元気に紹介してくれました。

「弁論の部」本選出場者は次の皆さんです。(敬称略)

- 【小学校6年生】住道南小/亀川夢乃、四条小/木下歩美、  
深野小/服部恭果、北条小/末吉梨紗、氷野小/高橋舞衣  
【中学生】四条中2年/諸留宙、深野中3年/城間賢、  
北条中1年/浦崎萌々花、諸福中2年/前野杏奈、  
大東中3年/木戸友恵

将来の夢、友だちの大切さ、人とのつながり、周りの人への感謝の気持ち、部活を通して学んだこと…出場者10名の優しさ、強さ、そして真面目な取組み姿勢が伝わってくる大変立派な弁論発表でした。



「1分間スピーチの部」出場者は次の皆さんです。(敬称略)

- 【小学校5年生】南郷小/坂出梨里香、住道北小/渡邊悠貴、  
住道南小/林怜央、四条小/蔡翔傑、四条北小/荒瀬達也、  
深野小/加賀山幸花、北条小/北井詩桜、氷野小/藪井敢太、  
泉小/木村慶太、諸福小/浅田瑠衣、灰塚小/堂ヶ平愛子、  
三箇小/伊藤佑華

それぞれの学校の誇れるところや大好きなところなどについて、大ホールの大きな舞台上に緊張しながらも、いきいきと堂々とスピーチをしてくれました。

# 安全・安心な学校づくりのために

社会が大きく変化する中で、人々の価値観が多様化しています。それに伴い、「いじめ」「暴力行為」「児童虐待」などの問題は、重大かつ複雑化しており、これらの中には学校だけでは解決していくことが困難なケースもあります。



こうした問題に対応する時、学校教育の視点に限らず、社会福祉や心理・法律などの専門家による助言を得ることや、教員と異なる立場からの児童生徒へのアプローチ、また、関係機関と連携して取り組んでいくことが有効な場合が多くあります。

大東市教育委員会では、学校で生起する重大な問題に対して専門家の派遣や外部機関との積極的な連携により学校をサポートする「学校問題解決支援事業」を今年度より実施しています。具体的には、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、弁護士などの専門家や、生徒指導支援員、警察OBを派遣して学校を支援し、学校が主体的に問題解決を図るというものです。



派遣する専門家の中に「スクールソーシャルワーカー」があります。今回はその専門性について紹介します。

スクールソーシャルワーカーは、「困った子は困っている子」という認識のもと、子どものことを最優先に考え、福祉的な視点から問題を分析し、解決のための助言や福祉機関などとの調整を行います。

また問題解決にあたっては、「個人」の問題としてとらえるのではなく、その人の置かれた「環境」や、「個人と環境との関係」に注目し、子どもを取り巻く環境を調整することで問題解決が図られるよう働きかけていきます。

そうした働きかけを通して、学校と家庭が「子どものために何ができるか」という共通認識にたち、福祉機関やその他行政機関と連携するなど解決に向けて取り組んでいます。

なお、上記の事業とは別に、各中学校にはスクールカウンセラーが毎週1回勤務しています。こちらは、自分自身のことや友人関係、子育て等について子どもたちや保護者の皆さんからのご相談をお受けします。希望される場合は各小・中学校にお申し込みください。



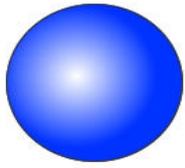
## 「ココロの再生」府民運動

「ココロの再生」府民運動は、府民一人ひとりが「生命を大切にする」「思いやる」「感謝する」「努力する」「ルールやマナーを守る」など、時代や社会がどのように変化しても決して忘れてはならない大切な『5つのココロ』を改めて確認し、一人ひとりの行動を見つめ直すことを呼びかける運動です。

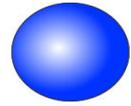
大切なココロを見つめ直し、まずは、あいさつから実践しましょう！



あい言葉は、  
「愛さつ OSAKA」  
(O) おはよう  
(S) さよなら  
(A) ありがとうで  
(K) こころの  
(A) 握手



# 地域ファミリースポーツ大会



この大会は、誰もが気軽にスポーツを楽しめるように、ルールが簡単なニュースポーツを取り入れ、大東市スポーツ推進委員会を中心に開催しています。

種目は、毎年実施しているおなじみのキンボールとカロリングに加え、スポーツ推進委員会が考案した「ボール de ビンゴ」を行います。ボール de ビンゴは、10m 先の穴にめがけボールをころがし得点を競います。

平成 25 年 7 月 7 日（日）に深野ブロック大会が、9 月 8（日）に四条ブロック大会が行われました。小さいお子さんからご高齢の方まで、多くの方に参加して頂き、皆さんに楽しんで頂くことができました。

今後も下記の予定で行われますので、是非参加してみてください。

## ○南郷ブロック大会

平成 26 年 1 月 19 日（日）9:30 から 於：大東市立南郷小学校体育館

## ○住道ブロック大会

平成 26 年 1 月 26 日（日）9:30 から 於：大東市立住道南小学校体育館

## ○中央大会

平成 26 年 3 月 2 日（日）9:30 から 於：大東市立市民体育館



カロリング



キンボール

## 子どもの自尊感情を高めるために ～子どもの心に寄り添って～

自尊感情とは、自分に対する肯定的な感情のことです。「自分は認められている。」「大切にされている。」という自尊感情を育むことは、子どもたちの成長にはとても大切なことです。自尊感情が高まると気持ちが安定し、前向きに取り組み、目標を達成しようとがんばり続けることができます。また人への気配りや人とのつきあいが上手にできるようになります。

学校では、子どもたちの自尊感情を育てることをめざして、お互いを認め合い、高め合う「学び合う授業づくり」や、一人ひとりの子どもにとって、学級や学校が安心できる居場所となる「集団づくり」等に取り組んでいます。

家庭でも、日常的なふれあいの中で自尊感情は育っていきます。

☆「おはよう」「いってらっしゃい」「おかえり」「ありがとう」などのあいさつを笑顔でかわしたり、家族で一緒に楽しむ時間を持ちましょう。

☆子どものがんばりを認め、いっしょに喜びましょう。

～良くない行動よりも良い行動に対して、注目してほめましょう～

☆お手伝いしたことや誰かの役に立ったことをほめましょう。

☆まちがった行いには、その行いについてきちんと叱りましょう。但し、「〇〇するな」などの否定的な言葉より、「〇〇しよう」等、肯定的な言葉を使うようにしましょう。「いつも〇〇なんだから」などのレッテル用語（決めつけ）は避けましょう。





# 中学校給食がスタートしました！



9月2日から中学校で、給食を開始しました。小学校と違い、民間調理業者で作られたおかずやごはんが弁当箱に入った、ランチボックス形式の給食を各中学校に配送しています。

大東市の中学校給食の特徴は、選択制ではなく全員喫食ということ、おかずを温めて提供するというものです。また、週2回程度汁物やデザートがあります。

中学校給食が開始されたことにより、学校・家庭での食への興味・関心が高まりつつあります。さらに食育の推進につなげていきたいと考えています。

各校に配送されたおかずは、配膳室にあるスチームコンベクションオープンで温めます。中心温度を測り、保温ボックスに入れます。汁物やデザートは、2重食缶に入っていくので、クラスで食器に配食します。

クラスごとに調理員さんが配缶します！



汁物の配缶の様子  
(調理場)

## 中心温度の計測(配膳室)



配膳員さんが温度を測ります！

給食当番が、配膳室まで給食を取りに行き、教室で配ります。給食の運搬も、スムーズに行われています。

生徒たちに、給食について聞いてみると…  
「ごはんのわりに、おかずが少ない」「味がうすい」「ふりかけが欲しい」「小学校の方が、おいしい！」「おいしい時もある」「デザートはうれしい」等いろいろな声が聞かれます。

給食時間は、どの学校も班になって和やかに食べている光景が見られます。



保護者対象の給食試食会が、10月から各校で開催されました。

保護者の皆さんからは、「温かいので良い」「親としては助かっている」「味がうすい」「この量では足りない」などのご意見を頂きました。ありがとうございました。ごはんの量については、各クラスおかわり分を用意しています。



先生からは、事前に考えていたよりずっと、生徒の方が慣れていてスムーズに給食の配膳ができているとの声が多く、これは小学校で培われた力だと考えられます。

好きなメニューの時とそうでない時では、残菜の量に大きな差があるとの意見もあります。給食を通して、生徒たちの食に対する姿勢や実態が明らかになり、今後、食育をすすめていく上での課題が見えてきました。



今後も成長期の中学生に必要な栄養摂取量を考えながら、安全でおいしい給食の献立を考えるとともに、アンケートを実施し、生徒や教職員の意見を参考にしながら、内容を充実させていきます。